

◆ 医師の異動（5月）

異動はありません

◆ 地域医療従事者研修のご案内

■ 第288回開放型病床生涯教育研修会

日時：平成29年6月1日（土）17:30～19:00

会場：市立長浜病院 講堂

テーマ：最新の胃がん治療

～高度進行胃がんの一症例をとおして～

講師：市立長浜病院 外科部長兼

患者総合支援センター副センター長 川島 和彦先生

申込先：がん対策推進室 電話 0749-68-2300(代表)

■ 第1回 CPC (予定)

日時：平成29年6月8日（木）17:30～

会場：市立長浜病院 講堂

テーマ：救急搬送直後に急激な経過をたどった
背部痛・呼吸困難の一例

■ OLSA-ICLS コース 長浜曳山コース

日時：平成29年6月10日（土）

9:00～17:30

会場：市立長浜病院 講堂

■ 『第2回 湖北糖尿病療養指導研究会』

日時：平成29年6月24日（土）13:50～17:00

Session I：講義(14:00～14:30)

「経口糖尿病薬の特徴について」

講師：長浜市立湖北病院 内科 清水真也先生

Session II：グループワーク(14:30～17:00)

事例1：「おやつは食べたい！食べても改善する方法を教えて！

と言う患者への関わり方」

事例2：「血糖値自己申告時の虚偽への関わり方」

＜コーディネーター＞

長浜市立湖北病院

CDE 滋賀 看護師 武田真紀子

＜総合司会＞

長浜市立湖北病院

CDE 滋賀 看護師 沢本孝美

＜ファシリテーター＞

長浜市立湖北病院

CDE 滋賀 看護師 荒木未央

市立長浜病院

糖尿病看護認定看護師 東昌代 西堀靖子

長浜赤十字病院

CDEJ 看護師 角川和也 禿子美和

会場：市立長浜病院 講堂

定員：先着30名

参加費：500円

申込先：地域医療連携室

電話 0749-65-2720

歯科・歯科口腔外科からのお知らせ

歯科口腔外科の病診予約枠を拡大いたしました。それに伴い当日受診枠が1日2枠に減少となっております。紹介状をお持ちになっても病診予約がない場合はお断りをさせていただくこととなりますので今後とも病診予約をご利用くださいますようお願いください。

放射線科(診断)よりお願い

MRIチェックリストが、5月1日より一部変更とさせていただきます。今までどおり、MRI予約時に予約表と共にFAXさせていただきます。

編集後記

春の嵐により1日で花盛りの世界から新緑の世界へと今年は変化しています。患者相談支援センターとしてスタートして早1ヶ月。未だ順応していない自分に褐をいれ5月病を乗り切りたいと思っています。

Pink-Bu



救急告示病院
日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療連携拠点病院
厚生労働省臨床研修指定病院
周産期協力病院

市立長浜病院 地域医療連携だより



平成29年5月1日号 No.149

市立長浜病院ホームページ

<http://www.nagahama-hp.jp/>

市立長浜病院 検索



市立長浜病院患者総合支援センター 地域医療連携室

〒526-8580 長浜市大茂亥町313番地

TEL:0749-65-2720 FAX:0749-65-2730

謹啓 青葉の候、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。5月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収くださいますようお願いいたします。 敬白

◆ 患者総合支援センター開設

患者総合支援センター長（院長）

神田 雄史



患者総合支援センターを4月1日に本館1階に開設しました。

患者総合支援センターの基本的概念は「外来受診時から入院後および退院後を見据えたうえで、患者さんを在宅および地域にスムーズにつなげるために、早期に情報収集・情報共有、連携、患者支援を行う体制・組織を整備する」ことです。

センターは、地域医療連携室、訪問看護ステーションで構成され、がん対策推進室、がん相談支援センターを併設します。

5月からセンターで病床管理を開始します。各病棟の病床利用状況、入院患者の重症度および医療・看護必要度、看護師の勤務状況を把握し、緊急入院を含めた空床利用の調節を行います。

患者さんの入院が決定すると、センターで看護師による入院説明、患者基本情報の収集や薬剤師による休薬説明が行われます。同時に、患者さんの不安や疑問に対応するために、専門看護師や相談センターへの橋渡しを行います。

入院決定時から収集された情報は在宅療養支援に引き継がれます。退院を阻害する要因を分析し、早期に退院できる環境を整備します。地域包括ケア病棟、医療型療養病棟、回復期リハビリテーション病棟の利用の調整も行います。

今までどおり、地域医療連携室が中心となり、病診連携、病病連携を引き続き推進します。患者さんに対するかかりつけ医キャンペーンや医療機関への情報提供などの広報活動を行います。湖北地域では医師不足が徐々に進行しています。湖北地域の診療体制を強化するには、各医療機関の連携、助け合いが必要です。医療機関の連携強化のために皆様のご支援とご協力をお願いします。



患者総合支援センター

外科部長兼患者総合支援センター副センター長

川島 和彦



2015年に成立した改正介護保険法では、「医療と介護の連携」を推進することが市区町村の掌握する業務として制度的に明確化されることとなりました。

当院におきましても、「地域完結型の医療」を進めるため、地域医療連携室と訪問看護ステーションの運営を円滑にするべく患者総合支援センターを開設いたしました。入院前に始まり、入院中、退院後までシームレスな患者様への支援を提供できればと考えております。また、病院内で働く医師、特に私の診療科であります外科医師の役割といたしまして、患者様に不安なく急性期治療を受けていただくために高水準の医療を提供し、元気に退院して地域に帰っていただくことが求められております。都会への偏重から湖北医療圏域の医師不足は深刻ではありますが、手術数等含め従前と変わることない医療を提供させていただいていると自負いたしております。この連携の中での役割を自覚し、微力ながら地域医療に貢献できればと考えております。今後、ますます地域連携、多職種連携が強く求められてまいります。地域の皆様のご指導とご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆地域医療連携グループ

従来からの病診・病病連携と予約業務を担当します。当院の強みはより強くできるように。反対の部分は皆で協力し知恵を絞って対応できるように考えていきたいと考えています。皆様のご意見をいただきよりよい地域連携ができるよう頑張りたいと考えています。

◆退院支援グループ

私たち退院支援グループは今年度体制を強化し、院内はもとより今まで以上に院外が多職種の皆様と「患者さんの生活を切らない支援」にむけて連携したいと思います。そのためには、入院の是非や退院時の姿のイメージを患者家族・医療者・地域のサービス提供者が共有して入院することができれば、それ自体が、「生活に戻すことを意識した院内院外連携」であり、私たちが意図する退院支援であると考えます。

「つなぐ」連携ではなく入院前の生活を「切らない」連携をめざしその実現のための患者総合支援センターが漸く稼働を開始しました。早期から多職種がその専門性を発揮し地域の資源をマネジメントする事を目指しています。当院の専門職は院内だけの活動にとどまらず地域に出て行き「生活を切らない」ことの支援を開始しています。長浜病院は患者家族だけでなくかかりつけ医の皆様や地域の医療福祉に従事されている皆様が気軽に立ち寄って頂ける健康の駅です。患者総合支援センターはそのプラットホームでありたいと思っています。

副センター長 土川 陽子

患者相談、病院内外の医療連携、チーム医療の支援などを行い、患者への医療・保健・福祉を含めた包括的なサービスを提供するため、平成29年4月に患者総合支援センターを開設しました。

病床機能分化が急激に進められる中、急性期病床には「急性期らしさ」や質が高く効率的な医療の提供がいつそう求められています。入院治療の目的を認識し、患者さんの医療への参加や準備と手術や治療の安全性の維持・向上は必須です。そのためには、外来の段階から継続的に入院前管理を実施することが重要です。

当センターでは、患者さん自身が納得して治療・検査に参加できるように、多職種の協働により情報を提供していきます。入院中のご不安や退院後の在宅療養のご相談に早期から支援し、安心して治療を受けていただく事を目指します。

◆入院支援グループ

入院支援グループには看護師が4名配属になりました。患者さん・ご家族が安心して入院・手術・検査を受けていただけるように、入院決定時から患者総合支援センター内の相談室でプライバシーに配慮し、検査説明や入院前後の説明を各部門と連携して実施します。また、早期より退院後を見据えた情報収集や患者さん・ご家族の疑問点やご意向を確認させていただき、各専門分野やコメディカルと連携して患者様の生活を分断しない医療が提供できるような支援に努めます。業務を開始したばかりですので診療科を限定し対応していますが、徐々に拡大していきたいと思っています。



副センター長 藤田 一弥

かかりつけ医、かかりつけ歯科医師の先生方と当院との連携は、病院理念である「人中心の医療・地域完結型の医療」を構築するうえで重要です。本年度は、先生方との病診連携・役割分担の取組を更に推進させていただき、地域医療の支援を行う病院として、地域医療支援病院の名称承認を目指します。このため、従来からの取組のほか、地域医療従事者研修として、登録医師の先生方をはじめ湖北薬剤師会の先生方、医療施設に勤務されている方々を対象とした公開講座や研修会の実施、当院図書室の利用者拡充をさせていただきます。さらに湖北医師会、湖北歯科医師会、湖北薬剤師会の会長様、医療行政機関の関係者との意見交換を行う地域医療連携委員会の準備も進めていますので、先生方には、変わらぬご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

◆患者相談窓口グループ

患者総合支援センターの入り口機能として、看護師を配置し相談を受けています。受診を希望される方がスムーズに受診できるように案内と支援を行ったり、入退院に関する相談、費用に関する相談、診療に関する相談など様々な相談の窓口として対応しています。専門的な内容については各専門の職員が対応させていただきます。

患者相談窓口は8:30~16:00で相談を受けております。お困りのことがありましたら是非ご利用ください。

◆訪問看護ステーション

今年度は、地域から要望が多かった訪問リハビリテーションを開始しました。セラピストによる生活状況や生活環境を把握し、日常生活に即した効果的なりハビリテーションを看護と連携しながら提供していきます。

事業所内配属のがん性疼痛看護認定看護師、院内の様々な専門職と共働し、痛みをはじめとした苦痛の緩和を図り、利用者・家族の「最後の時を住み慣れた家で迎えたい」想いに応え、一人一人に寄り添った看護を取り組んでまいります。

がん対策推進室

管理監 伏木 雅人

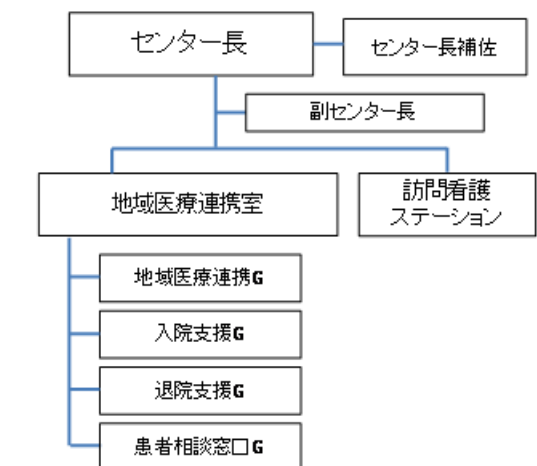


今年度より、従来のがん対策推進事業部から、がん対策推進室に名称を変更し、場所も患者総合支援センター内と変わりました。地域がん診療連携拠点病院として、院内のがん対策を推進することを目的に、がん関連事業の推進や啓発活動の推進、相談支援など幅広い活動を行っています。また地域へのがんに関する広報・啓発活動や緩和ケアの普及、地域連携クリニカルパスの運用の推進などにも力をいれています。また、今年度のがんフォーラムは、「病病・病診連携」をテーマに、長浜赤十字病院と共催で、野の花診療所 徳永進院長を招聘し開催予定です。是非、ご参加ください。

がん相談支援センターも併設しており、地域の先生方からのご相談や紹介も頂いております。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆組織図

患者総合支援センター



がん対策推進室

